

令和6年度 KIDSBASE さんかく第三者評価結果

(1) 第三者評価機関

児童養護施設クリスマス・ヴィレッジ

施設長 青木 健



(2) 事業者情報

名称: KIDSBASE さんかく	種別: 児童発達支援事業 放課後等デイサービス
代表者氏名: 坂本輝子	定員(利用人数): 10名
所在地: 〒343-0044 埼玉県越谷市大泊 378-3	Tel 048-971-5025

(3) 評価実施期間

令和6年4月1日(契約日)～令和7年3月31日(評価結果確定日)

(4) 総評

令和6年2月23日13時から18時にて療育の視察、職員面談を行い、保護者・事業所用アンケートの結果を基に、以下の総評を行った。

◆特に評価が高い点

① 療育の質の向上に向けた継続的な工夫が見られます。

支援の内容に関しては、児童一人ひとりの特性に応じた療育が提供されており、専門的な視点に基づくアセスメントと個別支援計画の策定が行われています。特に、支援の方向性を職員間で共有するために朝・終礼や定期的なケース検討の場を設けることで、支援の質を安定させる工夫がなされています。また、保護者の意見や関係機関の情報も積極的に取り入れ、児童の生活全体を見据えた支援が行われている点が高く評価されます。

② 情報共有や安全管理の強化に向けた取り組みが実施されています。

支援に関わる情報共有については、朝礼・終礼のほか、ケース検討会議の中で支援の方向性をすり合わせ、実践への反映を目指す姿勢が見受けられました。安全管理に関しても、避難訓練や衛生管理の徹底に加え、備蓄品の確認や災害時のマニュアル整備が行われており、保護者への情報発信についてもHPやメッセージアプリを活用するなど工夫が進んでいます。

◆特にコメントを要する点

アンケート結果からは、療育内容自体には高い評価があるものの、その内容が不明瞭と感じる保護者が一定数いることが明らかとなりました。支援が専門的かつ多面的であるがゆえに、日常的な療育の様子や支援の意図が十分に伝わっていない可能性があり、保護者との更なる情報共有が求められます。

今後は、日常的な支援の過程や意図を可視化する工夫を強化し、保護者と支援方針を共有しながら共に療育に取り組む姿勢をより一層発展させていくことが期待されます。特に、災害時の備えや訓練の様子、支援の進捗などを具体的に伝えることで、家庭との連携が強化されるものと考えられます。

(5) 第三者評価に対する事業者のコメント

この度も貴重なご意見をいただき、深く感謝申し上げます。今回の評価を通じて、私たちが日々の療育活動の中で大切にしてきた支援の在り方が一定の評価をいただけたことを励みに感じております。一方で、保護者の皆様への情報共有に関して「内容が分かりづらい」「日常の様子が伝わりにくい」といったご指摘をいただき、改めて情報発信の在り方を見直す必要性を強く認識しております。これまでHPやメッセージアプリを活用して療育内容をお伝えしてまいりましたが、今後は日々の何気ない療育の様子や、支援の背景となる意図についても積極的に共有し、より信頼いただける支援体制の構築に努めてまいります。また、職員間の情報共有や支援方針の明確化に加え、保護者との連携を深めるための面談やペアレントトレーニングの機会も意識的に設けてまいります。これらの取り組みを通じて、保護者の皆様とともに児童の成長を支える場づくりを継続していけるよう、一同努めてまいります。